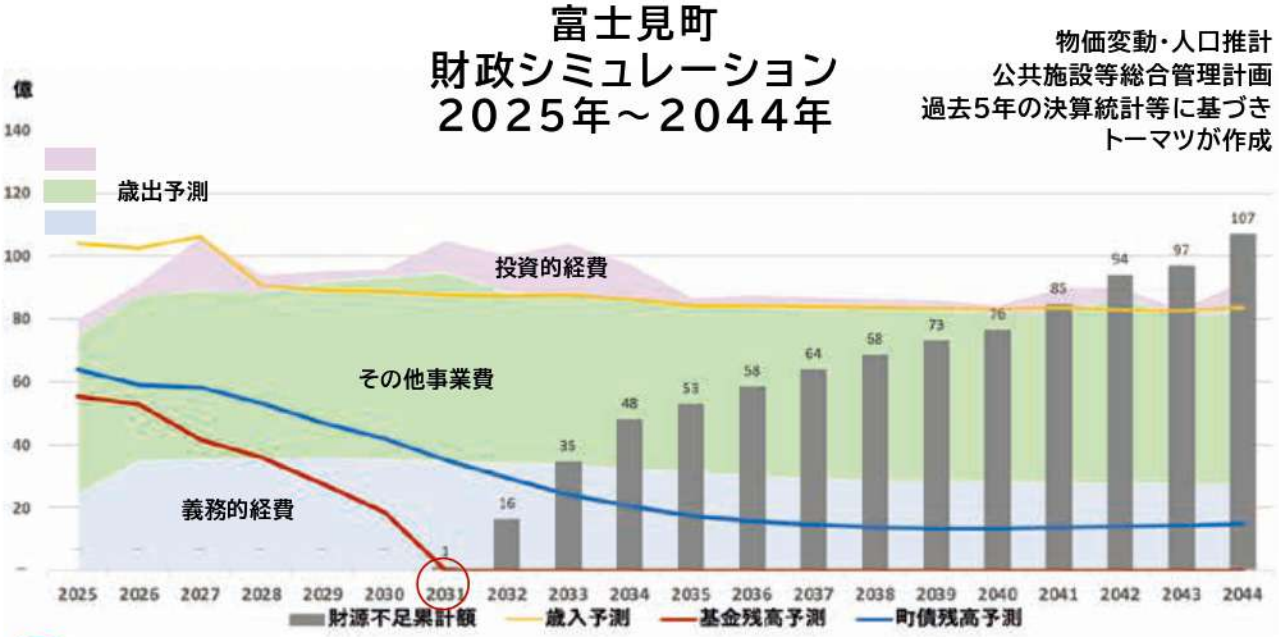
これから連載でお届けします

いまならまだ間に合う！ #1

富士見町の財政状況

財務課財政係 62-9126

2025年9月に中長期的財政シミュレーションが完成しました。その結果、何も改革しなければ2031年、**5年後には現在50億円ほどある町の貯金が枯渇し、財源不足に陥るという厳しい予測**が明らかになりました。



Q なぜそんなことに？

A 働いて納税する世代の減少等により町の収入が減る一方で、高齢化により福祉費や、公共施設・道・橋の老朽化により維持費が大幅に増加しています。支出に対して足りない収入に町の貯金（基金）を充当し続けると、基金がなくなり予算が組めなくなります。人口構造が変わる中、県内外の多くの自治体が同じ課題に直面しています。

Q これからどうしたら良いの？

A 財政難を回避するためには行財政改革に本気で取り組むことが必要ですが、それには住民の皆様の理解と協力が欠かせません。広報ふじみの連載にて、背景や今後の方針についてお伝えしていきます。ぜひ町の未来に関心を持っていただき、住民対話の場へご参加ください。

詳しくは
5分ほどの動画から
ご覧ください

